

令和2年度第3回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和2年6月1日（月）13:15～13:45
- 2 場 所 ハーバーセンター4階 教育委員会会議室（Web会議）
- 3 出席者 <教育委員>
長田教育長 山本委員 梶木委員 伊東委員 今井委員 正司委員
<事務局>
長谷川事務局長兼教育次長 住谷教育次長 工藤総務部長
竹森学校支援部長 藤原学校教育部長 羽田野学校計画担当部長
松本教職員課人事担当部長 山下総合教育センター所長
- 4 欠席者 0名
- 5 傍聴者 2名（報道1社）
- 6 会議内容

（長田教育長）

それでは、教育委員会会議を始めます。

まず初めに、撮影の許可についてお諮りいたします。本日の教育委員会会議の様態を神戸新聞社さんから写真撮影並びに録音の申し出がありますので、許可したいと思いますですが御異議はございませんか。

（賛同）

（長田教育長）

それでは、許可することといたします。

本日は議案3件、協議事項4件、報告事項1件です。まず、非公開についてお諮りをいたします。このうち、教第10号議案、教第11号議案、教第12号議案につきましては教育委員会会議規則第10条第1項第3号により、長の作成する議会の議案に関する事。また協議事項6、協議事項7、報告事項1、につきましては同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものに該当すると思われまますので非公開としてはどうかと思いがいかがでしょうか。

（賛同）

（長田教育長）

よろしいでしょうか。

それでは、ただいま申しあげました教第10号議案、教第11号議案、教第12号議案、並びに協議事項6、協議事項7、報告事項1、につきましては非公開とすることといたします。

協議事項8 令和2年実施神戸市学校教員採用候補者選考試験志願状況等について

(長田教育長)

それでは、早速議題に入りますが、まず、協議事項8 令和2年実施神戸市学校教員採用候補者選考試験志願状況等についてです。

では、事務局から簡単に説明をお願いします。

(藤井教職員人事担当課長)

はい、協議事項8について説明させていただきます。

1 ページでございますが、今年度実施、来年4月に採用をする予定の教員採用の志願状況について表にまとめさせていただいております。

各幼稚園から栄養教務まで校種ごとにそれぞれの募集定員と志願数をまとめてございまして、左から3行目に志願者数をまとめてございます。一番下をご覧くださいますと、合計で2,129人ということで昨年より97名減という状況になってございます。

これは大きくは募集人員を正規の人数で合計260名ということで昨年より90名募集を縮小している影響を受けていることが考えてございます。倍率については、8.2倍ということで、昨年の志願状況と比べますと2ポイント弱上がっているということで、こちらも同じく、志願者数は減ったのですが、志願定員を絞ったということの影響を受けているものでございます。

また、一般選考、大学推薦等々並べてございますが、今回社会人経験者のところが合計63名と増えてございます。こちらについては昨年より受験できる要件を働いている期間数をより柔軟なかたちに緩和したものが影響していると考えてございます。

数字についてはこちらの表にまとめているとおりでございまして、もう一枚おめくりいただきまして、全体の概要以外にそれぞれの特徴的な内容について2ページにまとめてございます。

全体概要については先ほどの数字のとおりでございますが、併願制度の状況をご覧くださいますと、199名が主たる区分の教種以外にも併願をしているという状況になってございます。

加点制度を下にまとめてございますが、今年度5つ項目が書いてございますが、複数免許、日本語指導による加点制度の利用者、「情報」免許又は「書道」免許による加点制

度について今年度実施の試験より加点のメニューを作りまして今記載のとおりのお知らせとなっております。

私からは以上でございます。

(長田教育長)

はい、それではこの件について、御意見なり御質問を伺いたしたいと思います。なお、この採用に関する今後の方針に係る内容につきましては、職員の人事に関する事、に該当いたしますので、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により、非公開に該当すると思われまので後ほど協議をさせていただきたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

(賛同)

(長田教育長)

はい、それではただいま事務局から説明・報告があった部分についてご質問・ご意見があればお願いをいたします。

(山本委員)

よろしいですか。

(長田教育長)

はい、山本委員どうぞ。

(山本委員)

小学校英語のほうの志願者がなかなかここ数年増えてこないんですけども、これは何か考えられる要因はありますでしょうか。

(藤井教職員人事担当課長)

そうですね。まだ受験者の状況を十分、面接とかもできていないので分かりませんが、ご指摘のとおり、だいたい横ばいに推移してます。

小学校のほうでも、小学校の免許をとる様子でも、教員の養成課程の中でも、既にすべての小学校教員の課程にこの英語の教科が今年から始まっていますので、学校の中で育成されている中で特異性がどこまで見られているかというのと、あと資格試験の成績で見られている中でこの資格試験をどういう形でこの教育現場で活かしていくか判断されているか、その志願者の傾向というのがまだつかめていないのが正直なところを考えてます。

なので、今後、教科化が来年度以降ずっと常態化していきますのでどのような形で育成

していくか、この科目を特別につくって試験をしていくかということも状況を見ながら判断していく必要があるのかなと考えてはいます。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。

よろしいでしょうか。

どうぞ、今井委員

(今井委員)

今井です。特別支援の免許による加点制度の利用者のほうが前年度よりも増えていってるといってことで、実際に特別支援学校に配置できる特別支援の免許を持たれた先生の配置状況というのはこの加点制度のおかげで少し増えていってると思ってもいいのでしょうか。そのあたり実際のところどうなのか教えていただければと思って。

(藤井教職員人事担当課長)

はい、実際この加点制度ではなく、直接ですねもともと主たる志願者として特別支援学校を受験されている方で採用されている方というのが大半なってきます。昨年でございますと、併願で通ってる方がプラス1名が併願の結果ですので。どちらかといいますと、もともと免許を当然持たれている方で主たる免許で持たれている主たる科目で受けられた方が採用されていることになりますので、効果としては十分あるとは思いますが、免許については免許を持って優秀な人から採用できる状況というのは近年続いているのかなという判断をしています。

(今井委員)

分かりました。ありがとうございます。

(長田教育長)

はい、他にございませんか。

(山本委員)

もう1件よろしいですか。

(長田教育長)

どうぞ。

(山本委員)

その近隣の政令市とか他府県の教員採用の志願者数には例年に比べると減っているというような状況なのでしょうか。近隣の様子はいかがですか。

(藤井教職員人事担当課長)

そうですね。今、近隣の様子をリサーチしているところなんですけれども、まちまちです。募集定員が伸びているところについては志願者数というのが増えていますけれども、逆に志願者数が増えているということは倍率が下がっているということになりますよね。募集人員の増減に比例している傾向が出ているのかなと、相対的には考えています。

(山本委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。

どうぞ、梶木委員

(梶木委員)

はい、大学の先生枠が、マイナス20人ですよ。応募者が減ってるということなんですけど、コロナで大学生が学校に来なくてあまり周知されなかったとかそんなことは影響していますか。

(藤井教職員人事担当課長)

大学推薦のところの締め切りが他の試験区分よりも色々資料を整えていただかないといけない関係があって例年早めに締め切らせていただいているんですけど、今回コロナ感染の対策で、大学のほうに学生さんが行けない時期が非常に長く続いたということで、大学さんからのお問い合わせもありましたので当初予定してたより延長してございます。人数としては、20名ということで、絶対値としては少なくなっているのですが、募集として大学でエントリーされている大学数でいきますと、大学の数は1つだけですけど51大学から52大学増えたということですので、全体としては大学の中での周知が十分にできてなかったということは今回無かったかなとは考えています。

(梶木委員)

はい、ありがとうございます。

(長田教育長)

他にございませんか。よろしいでしょうか。

実際の試験日は6月の27。

(藤井教職員人事担当課長)

日程について、今後の方向性についても協議中ということで、また相談させていただきたいと思います。

(長田教育長)

いずれにしても、また受験者の報告を。実際に終わったら受験者数がどうやったかの報告をしてもらわないといけないと思いますし。優秀な人材をしっかりと確保していくということが重要なテーマですから、是非、引き続き議論をして良い人材を確保していくということで務めていきたいと思います。

よろしいでしょうか。

協議事項5 新型コロナウイルス感染症対策に係る今後の対応について

(長田教育長)

はい、それでは次に参りますが、協議事項5です。新型コロナウイルス感染症対策に係る今後の対応についてです。では簡単に説明をお願いします。

(山出総務課長)

はい、それでは協議事項5新型コロナウイルス感染症対策に係る今後の対応についてという資料のほうで説明をさせていただきたいと思います。

前回の教育委員会会議以降の全市的な動きとしまして、まず次ページに緊急事態宣言解除に伴う神戸市感染症警戒本部の設置ということでございます。右上に5月27日と書いてますが、政府の緊急事態宣言が5月25日に解除された動きに伴いまして、神戸市全体といたしましてもコロナウイルスの感染症対策本部から警戒本部というかたちに衣替えをいたしまして、引き続き対策本部のメンバーと同じままなんですけれども、警戒を続けていくという位置づけになってございます。

次のページに感染症の警戒期における神戸市の対応方針ということで、同じく5月27日付で発表を全市として、しておりますけれども、学校園につきましては、4番、市立学校園の再開という項目でございまして、これは前回お話しした全市の対応方針第8弾というのがございましたが、ここと内容は変わってございません。警戒期におけるということであらうといった記載になったというところでございます。

他の部分は別の教育委員会以外の部分になりますので省略させていただきます、9ページになりますが、こちら5月27日市長の臨時会見で今後の対応方針等についてということで発表されておりました、①は本市の対応方針について、②は第1次対応検証チームの設置、③は熱中症対策の実施ということが発表されておりました、10ページにつきましては、現在感染の拡大期であったフェーズ1から感染の警戒期であるフェーズ2に一応緊急事態宣言の解除をもって下がっているという状態になっておりますが、今後警戒を続けながら、緊急事態宣言が発令された場合にはまたフェーズ1に戻っていくという図式でございます。

次に12ページ、新型コロナウイルス感染症対策第1次対応検証チームの設置ということで、こちら対象期間を1月30日から5月27日までをその感染症対策本部の設置期間における取り組みを今後の備えとして検証していこうということでございます。

5月27日に検証チームを設置いたしまして、6月中を目途に報告書を作っていこうという動きを全市でしてございまして、市立学校園につきましてもその1分野としてテーマが上がっておりますので、教育委員会事務局としてもこちらの検証チームに参画していく予定でございます。

13ページにはその報告書の概要ということで、④のところでも市立学校園も1分野に上がっているということでございます。

続いて、14ページ、熱中症対策の実施について、withコロナで初めて迎える夏の季節ということでこれまでの外出の自粛によりまして、気温上昇に体がついていけないであるとか、運動不足による筋肉量の低下、それからマスクの着用などで例年以上に熱中症対策が必要ということで、神戸市といたしましても全体で熱中症対策本部を同じく27日に設置しまして、熱中症警戒宣言を発出したところでございます。

その熱中症対策の取り組みが15ページに書いてございますが、教育委員会関係でいきますと、スポットクーラーを各小中学校に規模に応じて2台もしくは3台配備いたします予定でございます。こちらは6月の補正予算で上げていこうというふうに考えているところでございます。

以上が全市的な動きでございまして、一方、1点ご確認頂きたいといひますか、17ページでですね、新入生をお祝いする会の実施についてということで、こちら色々問い合わせもございまして、「小学校への入学」というのが、新一年生にとっても保護者にとっても特別なものということから、この新入生をお祝いをする場を設定していこうということで、小学校の校長等に通知を行ってございます。

内容をかいつまんで申し上げますと、1に新一年生が入学の喜びを感じられるように、できる限りの工夫を行ってほしいということ。それから2番、保護者の方にもご案内を出しまして、ともにお祝いをできるようにということ。それから3番、当然のことながら感染拡大防止の対策をしっかりと行うこと。4番ですが、実施時期につきましては通常登校で皆さんが集まってこられる6月15日を基本にということで、いろいろ例を挙げながら、

こういった会を催していこうと全市的に通知しているところでございます。

あと、最後19ページ、現在の患者の発生状況でございますが、直近7日間でゼロ人。これは5月14日以降は再陽性を除きますとゼロが続いているという状態で、神戸市は今のところ落ち着いているのかなと。北九州とか心配なところがあるかもしれませんが、神戸市の中ではゼロが継続している状況でございます。あとは資料をご覧いただけたらと思いますので。雑駁な説明でございますが、以上で説明とさせていただきます。

(長田教育長)

はい、それではご質問・ご意見を伺いたいと思いますが、このコロナウイルス対策につきましても、今後の方針にかかる内容につきましては第6号によって会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものに該当すると思われまますので、今後の方針につきましては後ほど非公開の場で協議を御願ひしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(長田教育長)

はい、それではただいま事務局から説明があった部分につきまして、ご質問・ご意見があればお願いをいたします。

(山本委員)

1件よろしいですか。

(長田教育長)

はい、どうぞ。

(山本委員)

先日、ちらっと、分散登校の様子を覗かせていただきました。また、先生方とも情報共有をしたいと思いますが、やっぱり、3か月近く家の中にいることが多かったのか、非常に子供たちが走っていても膝が上がってなかったり、色白にも見えましたし、やはりまだ怖いのか、運動場へ出ているときもマスクをしている子がたくさんいました。

そういう意味では、これまでとは異なる子供たちとの独特なスタートが始まっているのかなというふうに思います。

3か月の家籠りも含めて、気温の上昇にどう対応していくかという意味では、体も慣れていないと思いますし、それから体力不足的なこともあるでしょうし、それからマスクを

してということで、非常に熱がこもる、熱中症になりやすいというような状況もあろうかと思えます。

早い段階で熱中症の警戒宣言を出していただいたり、対応する体制を作っていただいたのは非常にありがたいことだと思えますし、是非、今後6月に向けてどんどん気温が上がったり、湿度が上がったりする中で非常に危険な場面が予想されると思えますので、今後とも周知、啓発のほうをどうぞよろしくお願ひしたいと思えます。以上です。

(長田教育長)

はい、他にございませんか。

よろしいでしょうか。この最後に新入生をお祝いする会の実施についてという、既に各小学校長宛に通知を事務局からしてもらっているようですけれども、この点についてもよろしいでしょうか。

今年は残念ながら式典としての入学式は実施ができなかったということですが、この6月15日を基本に、全校生が揃う日を基本として、できる限りの工夫を図っていただいて、皆でこの新入生をお祝いする場を設定をしてもらいたいということで。各校、学校間であまりばらばらとやり方といいますか、熱の入れ方が差が出ないように、是非十分に周知徹底をお願いをしたいと思えます。

よろしいでしょうか。その他、教育委員のほうからこの会議で取り上げるべき報告等について何かご意見なりございますでしょうか。

また、ございましたら事務局のほうまで連絡をお願いをしたいと思えます。

それでは公開案件はここで終了をいたしました。傍聴者の方々並びに報道関係者の方々には、恐れ入りますが、ご退席をお願いいたします。

閉会 午後1時45分